

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい〜深井		
○保護者評価実施期間	令和6年8月19日 ～ 令和6年9月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日 ～ 令和6年9月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化しないように、空き時間を利用してチームで内容を考えているところ。	個別支援計画更新時にうかがった本人や保護者さんのニーズをていねいに確認しながら、個別のプログラムも集団のプログラムも考えている。	・事業所内での支援会議やプログラムの立案の時間をしっかり確保していく。 ・同じ事業所の他店舗と引き続きプログラムを共有し合っていく。
2	終礼で、その日の支援について丁寧に振り返りを行ない、共有しているところ。	主に利用児の活動の様子や気持ちにスポットをあてて共有を行なっている。すべての職員が話しやすい雰囲気を作っている。	・指導員側の支援についても積極的にみんなで共有をしていく。
3	お子様に寄り添って支援させていただくことで、楽しく安心して通っていただいているところ。	小さなこともたくさん褒めさせていただき、自信につなげていきたいと思い支援している。利用後の保護者さんへのフィードバックもていねいをこころがけている。	・より専門性を高めた支援ができるように積極的に研修会等へ参加し職員全体で共有していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の安全確保に関して、保護者さんへの周知が少し不足している。	避難訓練や避難場所の確認はできているが、実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を事業所としては把握しているが保護者さんにしっかり伝えられていない。	・できるだけ早く、お手紙を準備し配布する。
2	研修に参加する機会がなかなかとれていない。	事業所全体で研修の場をとっている。また今年度は市の育成支援事業でスーパーバイズも受けている。ただ、外部での研修にはなかなか参加が難しい。	・外部での研修に指導員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
3	園や地域など他の子ども達と活動する機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっておりなかなか難しい。	・兄弟児も一緒に参加できるようなイベントから検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい〜深井
------	-------------------

公表日 年月日

利用児童数 39

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88%	8%	0%	4%	定員Maxになると少し狭いと感じることがある。	規定の利用定員ですが、曜日によって学年（体格）の偏りがあります。利用児の年齢も考慮してクラス編成を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	88%	0%	0%	12%		規定の人員配置を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		イラストや絵カードなど視覚支援を活用して、お子様が療育を受けていただきやすい環境設定に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	4%	0%	4%	先生方がとても真剣に向き合ってくれる。	療育の専門性を高めるために定期的に研修などを行ない、安定した支援ができるように努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもの特徴に合わせて支援してくれている。	本人や家族のニーズに沿った支援を心掛けています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		五領域を含む総合的な支援ができるように計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96%	4%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96%	4%	0%	0%	子ども達の声を聞きながら、柔軟にプログラムを変えてくれている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21%	25%	8%	46%		プログラム時間が決まっておりなかなか難しい状況ではありますが、そのような機会が設けられるように検討していきます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	79%	0%	0%	21%		事業所としてペアレントトレーニングは現在行っておりませんが、情報提供できるよう努めています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	送迎時、子どもの良い点を教えてくれて親が見過ごしがちな成長に気づかされる。時間をかけて聞いてくれる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%	0%	0%	4%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	一人ひとり寄り添った支援をしてくれる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	58%	21%	8%	13%	キッズの保護者交流会が年に1回あり好評。今年はジュニアの交流会があった。	保護者交流会を開催しております。今後、きょうだい児も含めたイベント等も検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	8%	0%	0%		お子様や保護者様からお話があった場合は、迅速に対応させていただくよう努めています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	83%	4%	0%	13%		ブログやInstagramなどで活度の様子を掲載しております。ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		厳重に管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	79%	8%	0%	13%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	96%	0%	0%	4%		年2回避難訓練を行なっています。職員の訓練や研修も定期的に行なっています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92%	0%	4%	4%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	ありのままでいられる場所です。大好きです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	88%	4%	0%	8%	通所が当たり前でとても気に入っている様子です。楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	大満足です。大変満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
運動発達支援スタジオ笑みりい～深井		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	43%	43%		規定の利用定員ですが、曜日によって学年（体格）の偏りがあります。利用児の年齢も考慮してクラス編成を考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	71%	14%		規定の人員配置を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	色テープで活動の場所がわかるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	71%	29%		利用クラスの終了ごとに清掃、消毒作業を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	相談室を何も物品がない状態にして、落ち着いて過ごしたり、クールダウンの部屋として使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%		定期的に話し合いの場を設け、職員全員で振り返りを行なっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年度末に保護者にアンケートに答えていただき、結果を職員全体で振り返り、業務の改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	終礼や支援会議、プログラムの相談など職員で話をする機会を多くとれるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%		現時点では第三者による外部評価は行なっていません。今後実施できるよう検討しているところです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	86%	14%		全店舗合同での研修は行なっていますが、外部で研修する機会を増やしていけるように努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	作成時に保護者と面談を行ない、ニーズや課題が反映されるように努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	終礼時に、利用児の共有を細かく行なっています。また、ケース会議や支援会議で共通理解しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画を職員全員で共有し、支援に当たっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%		支援会議の中で、心理師（職員）の意見を共有しながら話を進めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	発達年齢や今後の成長について保護者と話し合い、必要な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	空き時間を利用して、チームで考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じプログラムにならないように考え、提供しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	職員間で利用児の状況を共有し、個別的な活動にも力を入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼でその日の支援内容や役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日終礼時に、支援の振り返りを行ない共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	業務日誌や個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	普段のプログラム、祝日プログラムとも様々な活動を組み合わせ支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	小さなことでも自分で選び決める経験を積めるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が中心で参加しています。状況に応じて指導員も一緒に参加することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%		より多くの関係機関と連携できるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	必要に応じて、送迎時に情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	71%	29%		そのような機会を設けられるように努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%		当事業所は受け入れが小学6年生までの為、障害福祉サービス事業所への移行時に関わる機会が少ないですが、必要に応じて情報提供させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57%	29%	今年度は堺市障害児通所支援事業者育成事業のスーパーバイズを受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14%	86%		今後、交流の機会がもてるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%	極力、参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	支援の終わりや送迎時に活動の様子などをお伝えし、お家での様子も聞かせていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	29%	71%		ペアレントトレーニングや保護者も参加できる研修等を行なっていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学や体験時、契約の際に書面を用いて説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画更新時には面談を行ない、お子様や保護者さんの意向を聞かせていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画の内容を説明し、同意を得た上で署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談や連絡ノートでのやり取りを通して行なっています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を開催しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページのブログやInstagramで活動内容を掲載したり、ラインでお子様の活動の写真や動画を見ていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いには気を付けています。また個人を特定されないよう注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードや写真等の視覚支援を活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%		今後地域交流が持てるようなイベントの開催を予定しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に訓練を行なっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定して、災害時の物品を購入したり訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	体験時や契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	基本的に食べ物を提供していません。イベント等でおやつを提供する際は保護者さんに確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成して、月に1回安全点検を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		災害時の緊急連絡先の確認や来所時に災害が発生した場合の避難場所などを保護者さんに周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有し話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に虐待防止の研修を行なっています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%		身体拘束のマニュアルをもとに、必要に応じて保護者さんに相談後個別支援計画書に記載します。現時点で必要とする児童はいません。